
Merry X'mas

妃那

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

M e r r y X m a s

【Nコード】

N 2 3 3 3 D

【作者名】

妃那

【あらすじ】

クリスマスはやっぱり恋人といたい…花音は陽介を待ってるが…
陽介はこなくて…

（前書き）

もうすぐクリスマスなんで短編を書きました　読んで下さい！

『もう、なんなの…陽介なんて大嫌い!!!!』

カップルや親子連れが多いクリスマスの日、花音は1人、道行く人を見ながら呟いた…。

今日はクリスマス、花音がずっと楽しみにしていた日。陽介と2人で出掛ける事になっていた…。

だけど待ち合わせの時間になっても陽介が来ない…1時間、2時間待っていた。もう我慢の限界と思った矢先に聞き慣れた着信音…。

…陽介だ…。

『もしも…「わりい…寝坊しちゃった…待ち合わせの時間過ぎてるよねえ…そだ、俺ん家に花音迎えにきてよ!!!俺準備しとくからさあ…ダメ???』

なんて自己中な奴だろう…寝坊した拳句迎えに来いって…

2時間も待たされた事、そのせいで予定が狂ってしまった事、朝から自分1人気合いを入れて準備したのがバカバカしくなった。

極めつけに

「じゃあ、待ってる」って言うと共に電話はきれた…。

なんなの…何様なの!!!!私の気持ち少しは考えてよ…。

そう思いながらも、足はちゃんと陽介の家に向かつてる…そんな自分にも腹がたった。

陽介の家は待ち合わせ場所から10分程の場所にある。

トントントンッ!!

『陽介えゝ?』

返事がない…

もしかしてあの後また寝たんじゃないだろうか?

ドアを開けようとする鍵がかかってないようで、簡単に入る事ができた。

『陽介えゝ?』

キッチンを抜けて陽介の部屋のドアを開けたら…

「Merry Christmas!!」

陽介がサンタの帽子を被って出迎えてくれた。…????なんで??

『今日出掛ける約束したのに…どうして??』

あんなに前から予定をたてたのに嬉しい気持ちもあるが複雑な気持ちもあった…。

「…花音とクリスマス何処に行くって話した時に、丁度ホームパ―

ティーの特集で、花音がこうゆうのいいなあって羨ましそうに言うたから、喜んでもらえるかなって思ってた…」

…怒った？といいながら私の顔を覗き込んだ。

不器用なくせに飾り付けをちゃんとしてくれてて、ケーキもご飯も作ってくれていた。

私の一言でここまでしてくれる陽介…すごく嬉しかった。

『陽介、ありがとう！！大好き』

怒ってた事なんて飛んでいっちゃう位のクリスマスプレゼント！！

綺麗なイルミネーションよりも、この不器用で、でも温かみのある飾りを付けたこの部屋でクリスマスをあなたと2人で…

M e r r y X · m a s

（後書き）

いかがでしたか？

感想 評価頂けたら嬉しいです

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2333d/>

Merry X'mas

2010年10月11日02時28分発行